



つどい

第1回役員会(リモート)



サービス提供責任者等研修会



もくじ

- 新役員紹介 2・3
- 総会報告 4・5
- 訪問介護員のための新型コロナウイルス感染症対応
..... 6・7
- 事務局からのお知らせ
..... 8



愛知県ホームヘルパー連絡協議会 新役員を紹介します!!

令和2年5月18日(月)の総会(書面審議)において、役員改選が行われ、12名の役員が選任されました。
任期は令和2年6月1日から令和4年5月31日です。



豊田市社会福祉協議会
神谷 洋美

会長

「コロナに負けない
強い絆」

コロナ禍の中ヘルパー最後の砦として役割が期待され、一方当時は物資や人材が不足し感染防止への対応も十分でないなかでヘルパー自身が感染するリスクや感染を媒介して広げてしまうことへの不安を抱えながらこれまでもそして今も頑張っています。

ヘルパー協として、皆さんと繋がり続ける事の大切さやコロナに対しても「正しく恐れる」こと「誰かを守るには、自分も誰かに守られていないといけない(できない)」と思います。

利用者さんに寄り添いながら、安心安全に生活支援を続けていけるよう事務所がヘルパーを守る大切さを今まで以上に感じていると思います。今後益々、ヘルパーの仲間が手をつなぎ大きな強い輪になれるようにと活動していききたいと思います。



副会長

豊山町社会福祉協議会
桶口 ひとみ

「守るべき魅力的な仕事」

社会情勢が目まぐるしく変わる中で、より質の高いスキルを求められています。コロナをきっかけに様々な見直しや新しい取り組みなどが要求され、時代についていくことに、大変なエネルギーがいると痛感しています。

そんな中で、ヘルパー連協の関わりは、とても心強く思っています。新しい情報や取組の方法など、事務局をはじめ会員事業所との連携により何とか理解を深めることができています。協議会の運営のお手伝いをさせて頂く事で、自分のスキルを向上させ、生涯現役を目指して頑張りたいと思っています。



岡崎市社会福祉協議会

小原 修子

「ヘルパーの笑顔のために」

登録ヘルパーとして、六年務めさせていただいた社協に十数年の間を空けて、再び務めさせていただき、三年が過ぎました。

介護保険制度は目まぐるしく変わり、ヘルパーの専門性が、より重要になってきている事を感じました。

そして、制度は変わっても、利用者に寄り添うヘルパーの笑顔は変わらない事に安心し、守っていかなければいけない貴重な魅力的な仕事だと再認識しました。

この度、西三河ブロック2の常任委員を受けさせていただきました。機会をいただきました。ヘルパーの未来のために、少しでもお役に立てられるように努めていききたいと思っています。

よろしく願いいたします。



一宮市社会福祉協議会
山口 笑理子

「ヘルパーとして成長するために」

今回尾西ブロックの常任委員を務めさせていただくことになりました。いろいろなところ迷惑をかけることもあるかと思いますが、自分の勉強と思い、勤めさせて頂きます。ヘルパーとして成長して行きたいと思っています。よろしくお願いします。



刈谷市社会福祉協議会
木山 史之

「ヘルパーとして在宅福祉の最後の砦に」

今回、西三河ブロックの常任委員を務めさせていただくことになりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの利用者や事業所が過酷な状況を強いられていると思いますが、利用者の方々の在宅生活を支えるため、ヘルパーとしてより良い自立支援を目指していきたいと思っています。委員の皆さんと情報共有をしながら、今現場に必要なことをお伝えしたいと思いますので、よろしく願いします。



蒲郡市社会福祉協議会
小笠原 佐夜子

「質の高い支援の提供を目指して」

ヘルパー事業所に十七年ぶりに戻ってきました。サービス提供責任者という職種が確立しており、ヘルパーとの信



小牧市社会福祉協議会
安藤 剛

「元氣・笑顔・感謝」

引き続き尾東ブロックの常任委員を務めさせていただくことになりました。昨年からコロナウイルスにより訪問介護の現場も感染予防等に非常に気を使うことが増えていることと思います。また、日常生活も大きく変化しています。その変化の中で私たちヘルパーは、元氣と笑顔を届ける大切な役割を担っていると考えます。これからも利用者様と一緒に働くヘルパーさんへの感謝の気持ちを忘れずに業務に取り組んでいきたいと思っています。



知多市社会福祉協議会
飯尾 文子

「こんな時だからこそ」

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の当たり前が当たり前にできない大変な状況です。直接的なコミュニケーションを基本とする訪問介護の現場でも、みなさん苦労されていることかと思えます。「こんな時だからこそ、毎日をどう過ごすか」が、今後の自分にとって大切になってくると思っています。

この機会をチャンスととらえ、ヘルパー連絡協議会とのつながりを深め、情報共有したことを発信し、少しでもみなさんの力になれるよう頑張っていきたいと思っています。



岩倉市社会福祉協議会
安井 八恵子

「岩倉市社会福祉協議会の安井です」

尾北ブロックの常任委員を務めさせていただくことになりました。ヘルパーになって二年目に入りました。経験豊かな先輩方の下で業務に取り組み、勉強をさせていただく毎日です。

今回、常任委員を務めさせていただくこととなり身が引き締まる思いです。このような機会をいただけたことはチャンスだと思い、他地区のヘルパーの皆様との交流を大切にして、研修では多くの事を学び、自分自身のスキルアップが出来たらと思っています。よろしく願いいたします。



愛西市社会福祉協議会
中谷 弘子

「アンサング・ヘルパーが
輝くことを願っています」

「今日も一日いろいろあったけど、お疲れ様でしたー」が事務所での合言葉になっているような日々を過ごしています。

責任者・ヘルパーとして経験不足な私が実感しているのは、ヘルパーの仕事は本当に大事な仕事!ということなのです。

介護保険の利用者の方で、ADLが低下したことで、精神的に落ち込み、介助に対して「もう良い、帰ってけー」と強い拒否があった方が、二年後に「ご苦労さん」と言ってくださった時は、利用者が介護の先生のように、心あるケアの大切さを教わりました。

「アンサング・ヒーロー」とは、緑の下の力持ちという



武豊町社会福祉協議会
森下 真一

「共に成長して」

コロナ禍での対応、利用者様の重度化防止、自立支援に向けた支援など、在宅支援におけるヘルパーの存在の重要性を改めて実感しています。しかし、サ責としての自分の未熟さのため息をつくことが多い日々の中、今回連協の常任委員のお話をいただきました。

経験豊富な役員の方々と活動を通して、日々の支援の充実、さらには自分自身の成長に繋げることができればと思います。

二年間よろしく願いいたします。



東栄町社会福祉協議会
中野 幸枝

「つながり、思いやりを大切に」

コロナ禍中、訪問介護は最後の砦です。全てが今まで通りに行かない中、ヘルパーの健康を守りながら、訪問を続けなければいけないと思います。また、このような時だからこそ、人と人とのつながり、思いやりを大切に在宅支援していく必要があります。

サ責になり三年が経ちました。未熟な私でも連絡会に参加することで、悩みや不安を共有することが出来ました。これからも知識や技術を向上し、在宅介護のプロとしての誇りを持ち、訪問を続けて行きたいと思っています。本年度は役員として恩返しできれば幸いです。

第4 広報事業の実施

- (1) 本会機関紙「つと い」の発行 各400部
第88号(令和元年9月)
第89号(令和2年3月)
- (2) ホームヘルプ活動の普及に関する広報活動
「2016年改訂版訪問介護マニュアル」
販売部数 30部
「2019年改訂版訪問介護マニュアル」
販売部数 869部

第6 表彰事業の実施

- 多年にわたりホームヘルパー事業の推進に尽力し、功績が顕著な会員に対し、会長表彰状及び会長感謝状を贈呈した。
- 表彰者 会長感謝7名

第5 関係機関・団体との連携強化

- (1) 全国ホームヘルパー協議会協議員セミナー
令和元年5月15日(水) 東京都
- (2) 全国ホームヘルパー協議会協議員総会
令和元年5月16日(木) 東京都
- (3) 全国ホームヘルパー協議会常任協議会
令和元年5月15日(水) 東京都・令和2年2月24日(月・祝) 東京都
- (4) 全国ホームヘルパー協議会 ホームヘルプの質を高める研修会
令和2年2月23日(日)～24日(月・祝) 東京都

第7 共同募金運動への協力

- 愛知県共同募金会提唱の「図書カード」に協力した。
- 協力枚数 768枚
- | | | | | |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 参考 | 平成30年度 | 795枚 | 平成29年度 | 830枚 |
| | 平成28年度 | 1,002枚 | 平成27年度 | 1,044枚 |

令和2年度 愛知県ホームヘルパー連絡協議会

総会報告

令和2年度 事業計画

重点事業

- 1 ホームヘルパーの専門職集団としての組織強化を一層図り、会への参加促進を図る。
- 2 高齢者・障害者等の利用者一人ひとりの状況を把握し、利用者が住み慣れた地域で暮し続けることができるように「生活を支援する専門職」としてのホームヘルパーの資質向上を図る。
- 3 利用者の自立支援・重度化防止について考えるとともに、より質の高いサービスを提供できるように、地域における関連機関との連携に努める。
- 4 大規模災害の教訓を活かし、「ホームヘルパー」として災害時対応を想定して、日ごろの地域との連携強化に努めていく。
- 5 感染症のリスクに備え、医療機関との連携を強化し、日ごろから予防や対応策について検討、整備するよう努める。

1 会の運営と組織強化

- (1) 役員会の開催
- (2) 委員総会の開催
令和2年5月18日【書面審議】
- (3) 研修・調査広報の各委員会の開催
- (4) 市町村委員ブロック会議の開催
令和2年5月18日【延期・7月開催予定】
- (5) 監事会の開催
令和2年4月13日【書面審議】
- (6) ブロック別研修会への助成

4 広報事業

- (1) 機関紙「つと い」の発行 年2回
- (2) 訪問介護マニュアルの会員・会員外に対する販売促進
- (3) サービス提供責任者支援ハンドブックの会員・会員外に対する販売促進

2 調査・研究事業

- (1) 福祉制度を理解するための研修会の開催
- (2) 利用者の自立支援を目指したサービス提供のための調査研究
- (3) ホームヘルプ活動に関する資料・情報の収集と研究

3 研修事業

- (1) 市町村委員研修会 令和2年5月18日【中止】
- (2) 現任研修会 令和2年7月
- (3) サービス提供責任者研修会(兼東海ブロック研修会)
令和2年11月
- (4) スキルアップ研修会 令和3年2月
- (5) 県内ブロック別研修会
令和2年8月～令和3年3月

5 会議等への参加と関係機関・団体との連携強化

- (1) 全国ホームヘルパー協議会関連会議等への代表者並びに参加者派遣
・全国ホームヘルパー協議会協議員セミナー【中止】 令和2年5月14日〈東京都〉
・全国ホームヘルパー協議会協議員総会【中止】 令和2年5月15日〈東京都〉
・全国ホームヘルパー協議会常任協議委員会(年4回)
・全国ホームヘルパー協議会正副会長会議(年1回)
- (2) 愛知県社会福祉協議会等関係機関・団体との連携
- (3) 愛知県介護福祉士会等各専門職団体との連携

6 表彰事業の実施

7 共同募金運動への参加協力

8 大規模災害の教訓を活かした災害時対応と広域支援体制の検討

令和元年度 事業報告

事業実施状況

第1 会の運営と組織強化

本会の組織強化とホームヘルパー全員参加の推進に向け、次の会議を開催し会務を運営した。

- (1) 役員会等の開催
役員会の開催 4回
平成31年4月19日(金)(正副会長会議)
令和元年5月20日(月)(第1回役員会)
令和元年8月8日(木)(第2回役員会)
令和元年1月11日(月)(第3回役員会)
令和2年3月13日(金)(第4回役員会)
【新型コロナウイルス感染症対策により中止】
- (2) 委員総会の開催 1回
令和元年5月20日(月)
愛知県社会福祉会館 参加者 41名
・平成30年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会事業報告

- ・平成30年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会収支決算
 - ・令和元年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会事業計画
 - ・令和元年度愛知県ホームヘルパー連絡協議会収支予算
- (3) 専門委員会の開催 4回
【うち1回は新型コロナウイルス感染症対策により中止】
役員会の開催時に併せ、研修・調査広報の専門委員会を開催し、研究協議を行った。
 - (4) 監事会の開催 1回
平成31年4月19日(金)
 - (5) 組織強化活動
ア 会員 173名(50事業所)
なお、会員外に対しても研修等への参加促進を図った。
＜参考・会員の動向＞
平成30年度 会員数 195名(54事業所)
平成29年度 会員数 216名(56事業所)
平成28年度 会員数 224名(60事業所)
イ 県内ブロック別等研修会を開催し、県内各地区の交流促進とスキルアップを図った。(詳細は第3の(5)に別掲)

第2 調査研究事業の実施

- (1) 平成30年度の老計10号の内容を含めた「2019年改訂版訪問介護マニュアル」を発行し、会員をはじめ全国ホームヘルパー協議会の会員事業所等に販売した。
販売部数 899部(会員価格700円、一般価格800円)(旧マニュアル30部含む)
- (2) サービス提供責任者のためのマニュアル本「サービス提供責任者支援ハンドブック」を作成した。

第3 ホームヘルパー研修会事業の実施

- (1) 市町村委員等研修会
令和元年5月20日(月) 県社会福祉会館
参加者41名
・企業情報提供 キュービー名古屋支社「介護食の説明・試食」
・講義 「愛知県内の詐欺被害の現状と対策について」
講師 愛知県警察本部 生活安全部 生活安全総務課 安達 信生 氏
 - (2) スキルアップ研修会
令和元年8月8日(木) 県社会福祉会館
参加者63名(会員外10名)
・講義 「実地指導対策について～日頃の記録を見直そう～」
講師 株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤 亜記 氏
 - (5) 県内ブロック別等研修会
- ・演習・グループワーク
講師 株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤 亜記 氏
 - (3) 現任研修会(兼東海ブロック研修会)
令和元年11月11日(月) 県社会福祉会館
参加者66名(会員外15名)
・講義 「ヘルパーの自立した支援 ～ヘルパーのやりがいに向けて～」
講師 大妻女子大学 名誉教授 是枝 祥子 氏
・演習・グループワーク
講師 大妻女子大学 名誉教授 是枝 祥子 氏
 - (4) サービス提供責任者等研修会
【新型コロナウイルス感染症対策により延期】
令和2年3月13日(金) 県社会福祉会館
・講義 「基礎から学ぶサービス提供責任者の責務・役割」
講師 名古屋柳城短期大学 准教授 大崎 千秋 氏
・演習・グループワーク

No.	ブロック	開催日	テーマ	開催地	参加人数
1	海 部	令和元年11月9日(土)	「楽しく学ぼう口腔ケア」 愛知県歯科衛生士連盟 会長 舟橋 美千代 氏	蟹江町	29
2	尾 西	令和元年10月5日(土)	「認知症について」 NPO法人介護研究会 笑 代表 黒田 敬 氏	稲沢市	47
3		※台風のため中止	「中高年からの栄養 老後からの栄養」 地域包括ケア推進室 主査 伊藤 邦彦 氏	—	—
4	尾 北	令和元年11月9日(土)	「ヘルパーのための口腔ケア」 愛知県歯科衛生士会 監事 池山 豊子 氏	大口町	47
5	尾 東	令和元年12月1日(日)	①「ヘルパーのための栄養管理について ～低栄養予防を中心に～」 管理栄養士 石川 洋子 氏 ②「ヨガ体験 ～腰痛予防を目的に～」 川端 美保 氏	東郷町	21
6	知 多	令和元年1月11日(土)	「自立支援に向けた医療と介護の連携」 医療法人愛生館 在宅介護センター 副センター長 磯村 直美 氏	東浦町	62
7	豊 田	令和元年9月29日(日)	①「食へることは生きること！」 大正ファミリー歯科 院長 松岡 永治 氏 ②「知っておきたい高齢者の食事講座」 キュービー(株)名古屋支社 真鍋 愛子 氏	豊田市	72
8	西三河	令和元年12月7日(土)	「知的障がいと自閉症の理解と対応」 社会福祉法人大府福祉会 たくと大府 施設長 林 大輔 氏	高浜市	30
9		令和元年12月14日(土)	「薬の基礎知識と認知症の方への服薬支援」 岡崎薬剤師会会長・ポプラ薬局管理薬剤師 森 直之 氏	幸田町	39
10	奥三河	令和元年11月30日(土)	「日常生活援助の基礎～全身清拭の方法～」 鈴木 直美 氏	新城市	29
11	東三河	令和2年2月21日(土)	「在宅と管理栄養士の関わり」 蒲郡市民病院 診療技術局 栄養科 技師長 鈴木 給美 氏	蒲郡市	30

訪問介護員のための 新型コロナウイルス感染症対応

岡崎市 社会福祉協議会

ヘルパーの訪問前検温報告、訪問毎の手指消毒はもちろん、行動履歴記録の推奨をしています。
今回の事業継続助成金にてヘルパー全員に感染予防セットを準備し、事務所内にはコロナシャッターなる飛沫感染用のアクリル板を置いてあります。

また、利用者様にはコロナ感染が疑われる症状がある場合にはお知らせいただき、ケアマネ等と相談の上、訪問内容を検討させていただく旨の通知をあらかじめ郵送してます。

- ・職員、登録ヘルパー全員に書面にて注意喚起
- ・マスク、消毒、使い捨て手袋等の配布。
消毒の不足に備え、物品については塩素系漂白剤を0.05%に薄めて使える方法も伝える。
- ・検温を毎朝施行し、自己管理する（3月末～全職員に指示）。
- ・サ責会議にて、『コロナウイルス感染対応マニュアル』作成。

- ヘルパー室3拠点のうちどこかが機能しなくなった場合を想定し、誰もがヘルパー手配、訪問できる様に書類を整える。人手が無くなることも想定し、利用者様の優先順位の選定。緊急連絡網の整備。
- ・移動支援、同行援護、通院支援の中止等の対応
利用者様に了承して頂き、3密を避ける場所の提案や、通院においては薬の受け取りに変更して頂く
 - ・事務所内にアクリル板設置
 - ・事業所内、アルコール消毒で机上を拭く

一宮市 社会福祉協議会

<現在行っている予防策>

- ・マスク、手洗い、消毒の徹底
- ・行動記録の徹底
- ・消毒液は常時補充できるように数量の確保
- ・体温（37.5℃）を基準に訪問有無を判断している
- ・健康状態の確認
- ・衛生用品の確保
- ・定期的な換気
- ・必要以上の移動は避ける

<対策を講じて良かった点>

- ・消毒意識が高まった
- ・各ヘルパーがコロナ対策をきちんと取り組んでいる
- ・毎日検温することで、リアルタイムで分かるため、朝一訪問できないと判断することができ、調整することができた。
- ・対策することにより、ヘルパーの不安が少し払拭された

刈谷市 社会福祉協議会

- ・ご利用者様に文書で訪問時ヘルパーが手洗いをさせて頂き、マスクをつける事をお願い、検温を依頼。
- ・ヘルパーは訪問時、マスク、携帯用消毒剤、使い捨て手袋持参。
- ・社内研修でヘルパーに感染症予防の徹底をした。

- ・利用者様の体調不良の連絡があった場合は、ケアマネさんを通して、本人と接触しないように買い物支援をした（2名）。
- ・事務所は入り口に手指消毒液を置き、座席と座席の間にクリアカーテンでしきりを作った。
- ・袖のない使い捨てエプロンと袖のついた使い捨てエプロンを購入保管。

豊山町 社会福祉協議会

- ①出勤前の検温
- ②訪問前後の手洗、消毒
- ③訪問直後に利用者様の検温（37℃以上の場合は事務所に連絡する）
発熱の場合はサ責よりケアマネや家族に報告し対応策を協議する
- ④職員全員に物品配布
手袋、携帯用消毒液、携帯用スリッパ、マスク、使い捨てエプロン

- 利用者の検温のための体温計
体温計を消毒するためのコットン（フェイスシールド、ガウン、ヘアキャップ、ゴーグル、靴カバー、マスク、手袋2枚）を1袋にセットしたもの
- ⑤職員への研修（コロナの対応、体調管理の方法等）
 - ⑥職員の意思確認（訪問を避けたい場合は担当変更等で対応）

蒲郡市 社会福祉協議会

岩倉市 社会福祉協議会

- ・常時マスクを着用している。
- ・アルコール消毒液とハンドソープを携帯している。
- ・訪問前に手指の消毒をする。訪問先で手洗いをさせてもらう。
- ・利用者様には体温を測っていただく。
- ・退出後手指の消毒をする。

- ・身体介護の利用者様にはフェイスシールド、防護服、手袋を必要時に応じて使用している。
- ・すべてのヘルパーにフェイスシールド、防護服、手袋を配布し必要に応じて使用するよう指導している。
- ・ヘルパーは毎朝検温を行い、体温チェックシートに記入する。

知多市 社会福祉協議会

<事務所>

- ・職員の出勤前の検温、発熱があれば連絡をして出勤を見合わせ、家族の発熱がある場合も連絡をして原因がわかるまで出勤を見合わせる。
- ・事務所内の消毒（消毒用エタノール）、机やいす、スイッチ類や車の鍵など手が触れる場所に行く。（朝と人の出入りがある時は随時）
- ・事務所の換気
- ・来所相談は窓口で行い、来所者の検温、消毒の実施

<訪問介護>

- ・職員研修を時間短縮、定期ミーティングの回数を減らし紙面やメールで伝達。

- ・感染症予防の研修会。
- ・訪問時の標準的予防策の実施。
身体介護、浴室やトイレ掃除の際は使い捨てグローブ使用
- ・感染症（コロナ以外）の利用者への対応は生活支援もすべてグローブ使用、必要時に使い捨てエプロン使用。
- ・ストラップ式ウイルススクリーナーを使用。

<移動支援>

- ・コロナ感染防止のため今月までは利用自粛していた。6月末より愛西市内は予防策をとり徐々に再開。

愛西市 社会福祉協議会

小牧市 社会福祉協議会

- ・マスクを必ず装着することと、各ヘルパーに十分なマスクを支給している。
- ・サービスを提供する前に利用者の検温をしている。
- ・サービス提供前後に手洗いをしている。
- ・携帯用の消毒液を支給している。

- ・飛沫感染予防のためゴーグルを支給している。
- ・使い捨てエプロンを支給している。
- ・使い捨ての予防着（つなぎ）を事務所に用意している。
- ・職員の検温を毎日実施している。
- ・感染予防の研修を実施した。

- ・町内各事業所、利用者・職員とも検温実施。バイタル管理は個人に任せる事業所と、事業所で行う場合があり。
- ・職員熱発時は出勤停止。利用者37.5℃以上でサービス提供中止。（37.0℃以上は要相談）
- ・事業所内ではソーシャルディスタンスを保つ、食事は透明パーテーションを使用。
- ・リモート会議の練習。
- ・登録ヘルパーなどは、事務所へは報告書の提出のみとし、職員間の接触を避ける体制づくり。

- ・フェイスシールド、マスク、防護ガウン、手袋、足カバー使用。
- ・利用者様へ感染予防対策の案内文を配布。
- ・濃厚接触疑惑のある職員が出たケース。100名近くの利用者・家族・ケアマネに連絡。
⇒緊急連絡先の一覧の作成の必要性を痛感。氏名、生年月日、キーパーソン氏名、ケアマネ、利用サービスを一覧に。

武豊町 社会福祉協議会

東栄町 社会福祉協議会

- ◎ヘルパーへの備品（マスク・グローブ・予防着・感染セット・消毒ジェル・シート等）配付
- 利用者への呼びかけ文書（重事説明補足文書）の配付（計4枚）
- ◎ヘルパー車内の消毒スプレー、手入口の消毒配置
- ◎毎月のミーティング表へ注意喚起（1枚）

◎ヘルパー向け ○利用者向け

新型コロナウイルス感染等の予防対策について

- ①訪問時の、利用者への検温の実施。熱が37.5℃以上、または体調がすぐれない場合は、家族様や担当ケアマネへ連絡。
- ②訪問介護員は、訪問前の検温、うがい、手洗い、手指消毒の励行、及びマスク、手袋、エプロンの着用にて、感染防止対策。
- ③やむを得ず、訪問日時の変更等を行う場合は、担当ケアマネを通じ、連絡する。

事務局からのお知らせ

訪問介護員のための新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が国内で拡大している中、不安を抱えながら、業務遂行されている方も多いと思います。

そんな方の不安を取りのぞけるよう、事業所における感染防止の取組や職場で感染者が出た場合の取組など、厚生労働省の通知を基に、分かりやすくまとめたマニュアルを作成いただきました！

愛知県社会福祉協議会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

愛知県ホームヘルパー連絡協議会ホームページ
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/chiiki/helper.html>

(マニュアル作成者) 株式会社ねこの手 代表取締役 伊藤亜記氏

各種マニュアル冊子の販売について



事業所での研修や介護技術の基礎確認、介護事故の予防等にもお役立てください。ご希望の方は、「申込書」にご記入のうえ、FAXにてご注文ください。

- | | |
|----------------------|------|
| ▼ 2019年改訂版 訪問介護マニュアル | |
| ・愛知県ホームヘルパー連絡協議会会員 | 700円 |
| ・会員外 | 800円 |
| ▼ サービス提供責任者 支援ハンドブック | |
| ・愛知県ホームヘルパー連絡協議会会員 | 500円 |
| ・会員外 | 600円 |

ご協力ありがとうございました！

本年度も「図書カード・クオカード」による赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、**740枚**のご協力をいただきました。この募金による寄付金は、諸経費を除き、来年度の本会事業費として配分されます。

この配分金は、本会事業の貴重な財源として、各種研修会の開催や機関誌等の発行に活用されますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願いします！



愛知県ホームヘルパー連絡協議会 機関紙 つとい 第90,91号(合併号)

住所 名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉会館内

TEL (052)212-5502 FAX (052)212-5503

発行 令和3年2月

編集・発行 愛知県ホームヘルパー連絡協議会 広報委員会

この機関紙は愛知県共同募金配分金で作られています。

